

高度医療都市を創出する未来技術シンポジウム

先端テクノロジーの総合戦略 がんと感染症を考える

日時 2008年 3月17日(月)・18日(火)

10:00-17:30

9:30-16:40

場所 岡山国際交流センター

(岡山市奉還町2丁目2番1号 TEL: 086-256-2905)

参加費無料
来聴歓迎

3月17日(月)

●招待講演

(英語講演には通訳が付きます)

奈良先端科学技術大学院大学

教授 森 浩禎 ■細胞のロバスト性解明に向けて

理化学研究所横浜研究所

チームリーダー 畠山真里子 ■頑強な癌シグナルネットワークをどう崩すか

中国天津医科大学

教授 付 麗 ■Occurrence, Development and Metastasis of Breast Cancer : from Morphology to Molecular Biology

米国国立がん研究所

腫瘍増殖因子部長 David S. Salomon

■Cripto-1 : An Oncofetal Gene as a Therapeutic Target in Cancer

●主題講演

岡山大学大学院自然科学研究科

特任助教 二見 翠 ■多成分蛍光分析法を用いたがん細胞特異的結合ペプチドの探索

教授 妹尾昌治 ■腫瘍マーカーの探索と能動的ターゲティング

教授 国枝哲夫 ■減数分裂に異常を呈する精子形成不全マウスから発癌モデル動物確立の試み

教授 田中秀雄 ■ヘテロ原子化合物の電解酸化を活用する生物活性化化合物の合成

教授 稲垣賢二 ■次世代抗腫瘍性酵素の開発

准教授 西原康師 ■乳癌の抗癌剤タモキシフェンの効率的全合成

懇親会 3月17日(月)18:00-20:00(レセプションホール)

3月18日(火)

●招待講演

札幌医科大学

教授 黒木由夫 ■肺コレクチンによる自然免疫機構

大阪大学大学院工学研究科

教授 明石 満 ■高分子ナノ粒子ワクチン

京都大学化学研究所

助教 服部正泰 ■医療・創薬へつながる KEGG データベース

●主題講演

岡山大学大学院自然科学研究科

助教 北松瑞生 ■蛍光性非天然アミノ酸群を用いたペプチド蛋白質間相互作用の新規解析法の開発

講師 二見淳一郎 ■タンパク質カチオン化技術を利用したがん治療技術の開発戦略

准教授 金山直樹 ■変異機能の ON/OFF 制御可能な B 細胞株を用いる in vitro 抗体作製システムの開発

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

教授 小熊恵二 ■Helicobacter pylori 感染と動脈硬化

助教 曾我賢彦 ■口腔内感染症のコントロールによるがん治療への貢献—白血病治療における院内医歯連携構築の実例から高度医療都市構築に向けて必要な取り組みを考える—

教授 土屋友房 ■抗菌薬耐性菌における耐性系の解析と耐性菌に有効な医薬品の開発

岡山大学大学院法務研究科

教授 山下 登 ■がんの治療成績の均てん化に向けて法がないうこと—地域がん登録事業法(仮称)草案の検討を通して—

要参加申込※締切 3月3日(月)詳細はホームページをご覧ください

■主催：岡山大学大学院自然科学研究科 ■協賛：日本バイオインフォマティクス学会、中国四国地域部会

■後援：岡山大学、岡山県、岡山市、中国経済産業局、岡山県医師会、(社)岡山県薬剤師会、(財)岡山工学振興会

事務局：岡山大学大学院自然科学研究科機能分子化学専攻医用生命工学講座 ナノバイオシステム分子設計学研究室(担当：朝倉・岩田)

電話 086-251-8265、ファックス 086-251-8216

E-メール：forum2008@biotech.okayama-u.ac.jp ホームページ：http://www.cyber.biotech.okayama-u.ac.jp/forum2008.html

世話人：妹尾昌治、稲垣賢二、西原康師(岡山大学大学院自然科学研究科)、太田 潤(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)